

## 2021年度 大学院修了生アンケート 集計結果

- 目的：大学院博士前期課程の教育内容の見直しを行い、かつ修了生の今後のキャリアに必要な学びを把握し博士後期課程の教育活動等の充実を図る。
- 対象：2015～2017年度 大学院修了生（修了後3年・4年・5年） 計12名
- 実施期間：10月14日（木）～10月29日（金）
- 回答数(率)：5/12名（41.7%）

### 1. あなたが在籍した領域及び修了年をご記入ください。

- ・ 病因・病態検査学領域 2016年3月修了 1名
- ・ 看護学領域 2017年3月修了 1名
- ・ 理学療法学領域 2017年3月修了 1名
- ・ 看護学領域 2018年3月修了 1名
- ・ 未記入 2016年3月修了 1名

### 2. 現在のキャリアにおいて、本学大学院での研究・学修が活かされていると実感する点、また学部卒で就職をしている方との違いを実感する点等についてご記入ください。

- ・ 現場での仕事から大学の教員としてキャリアチェンジをできた点。
- ・ 同じ職場で働く学部卒の方に比べ、プロジェクトの企画・実行力を評価されるので、中心的な役割を担えている。
- ・ たいていのつらい事（忙しい事）は乗り越えられるようになった。
- ・ 問題意識を持って過ごすようになった。社会問題や教育・専門分野に関する知識を得たことで、様々な出来事に対し、習慣などに流されず、中立的な立場で冷静に考えられるようになったと思う。
- ・ 現在、専門学校に就職しているため、職場における大学院等（キャリア）には特に評価に値しない。
- ・ 授業等の参考にはなっていると思う。
- ・ 大学院修了後に就職したわけではないため、学部卒の方との違いを感じることはありません。論文の書き方や発表における話の組み立て方は学べたと感じます。
- ・ 大学に於いて、未熟ではあるが、学生研究指導ができる。

### 3. 大学院在籍中の研究・学修を振り返り、不足していたと感じる事項やご意見等がありましたらご記入ください。

#### 【共通科目】

- ・ 研究方法について、体系的に学べる機会がほしかったです。

- ・研究方法について、疑問を感じてもこれをどのように進めていけば、明確になるのか道筋の立て方が難しい。
- ・英語について、「海外では」という視点が自分には足りなかった。
- ・教育について、もっと勉強しておけばよかった。
- ・特になし。

**【専門科目】**

- ・自分の研究内容に関する部分ばかりで、修了後、他のことが全く深められていないように感じた。
- ・在宅領域
- ・特になし。(×2)

**4. 博士後期課程への進学や資格取得・スキルアップを目的とした「学び直し」について、お考えになったことがありますか？**

- ・現在検討中である 1名（うち、概ね4年後 1名）
- ・興味・関心はある 4名
- ・検討していない 0名

**5. 現在検討中の（又は興味・関心がある）「学び直し」について、その学修内容や目的・理由等についてお答えください。**

**【4.で「現在検討中である」と回答】**

- ・博士後期課程修了後、行政書士試験を受ける予定です。実家の相続にあたり、行政書士に依頼する件数が多く、金銭的な負担が重くなるため、経済面における守る力を高めるために理学療法分野に縛られない学びを得ることで豊かな生活を送れるようになっていったため。

**【4.で「興味・関心はある」と回答】**

- ・今進めている研究を突き詰めたいと思っている。そのために、もっと方法や解析など理解を深めるためにスキルアップを考えている。また、チャレンジしてみたいという好奇心のような気持ちもある。
- ・認定にも興味がある。訪問看護、緩和ケア、家族看護等。
- ・語学やシステム・プログラミング等に興味があります。
- ・研究についての分析方法等深く学びたい。

**6. 「学び直し」を検討しない理由について、お答えください。（複数回答可）**

- ・金銭的に余裕がない 0名
- ・時間的に余裕がない 0名
- ・必要性を感じない 0名
- ・その他 0名

7. 現在お勤めの企業等に、「学び直し」を支援する制度として整備されているものをお答えください。(複数回答可)

- |                                |    |
|--------------------------------|----|
| ・ 修学資金貸付や資格取得費用補助等、金銭的支援制度     | 0名 |
| ・ 勤務時間内における社外研修受講を認める等、時間的支援制度 | 0名 |
| ・ スキルアップに対する昇任等の人事評価制度         | 0名 |
| ・ 整備されているか分からない                | 5名 |

8. 大学院等の運営に対し、期待すること2つをお答えください。

- |                              |    |
|------------------------------|----|
| ・ 入学金・授業料等の減免制度拡充            | 4名 |
| ・ オンライン授業（ライブ授業、オンデマンド授業）の拡充 | 3名 |
| ・ オーダーメイドカリキュラムの導入           | 1名 |
| ・ 研究施設・設備の拡充と利用制限の緩和         | 2名 |

9. 本学大学院へのご意見やご要望等がありましたら、ご記入ください。

- ・ だんだんブラッシュアップされていることが博士後期課程に入りわかりました。指導教員と接点があったので、たまたま情報に恵まれましたが、普通に仕事をしていると知ることができなかつたと思います。卒業生に向けて学び直しの勧めや大学院のシステムが拡充されていることを発信し、共同研究あるいは研究協力者制度などの案内（卒研以上、修士未満）等で卒後もパース大学に関心を持ち続けてもらうことが重要かと思います。
- ・ 振り返ると、大学院（前期）楽しかったです。夜間、土曜の講義で苦しい時もありましたが、充実していました。私は指導の先生とも関係が良かったので、最後まで頑張れました。感想になってしまいすみません。
- ・ 仕事と両立しながらの学習になるため、限られた時間でも、無理なく習得できたら良いと思います。
- ・ 先生方のご指導や事務の方々のサポートのおかげで学位を取得することができたと思っています。医療、科学の発展に貢献される学生が多く修了されるよう、益々のご発展をお祈りしております。ありがとうございました。